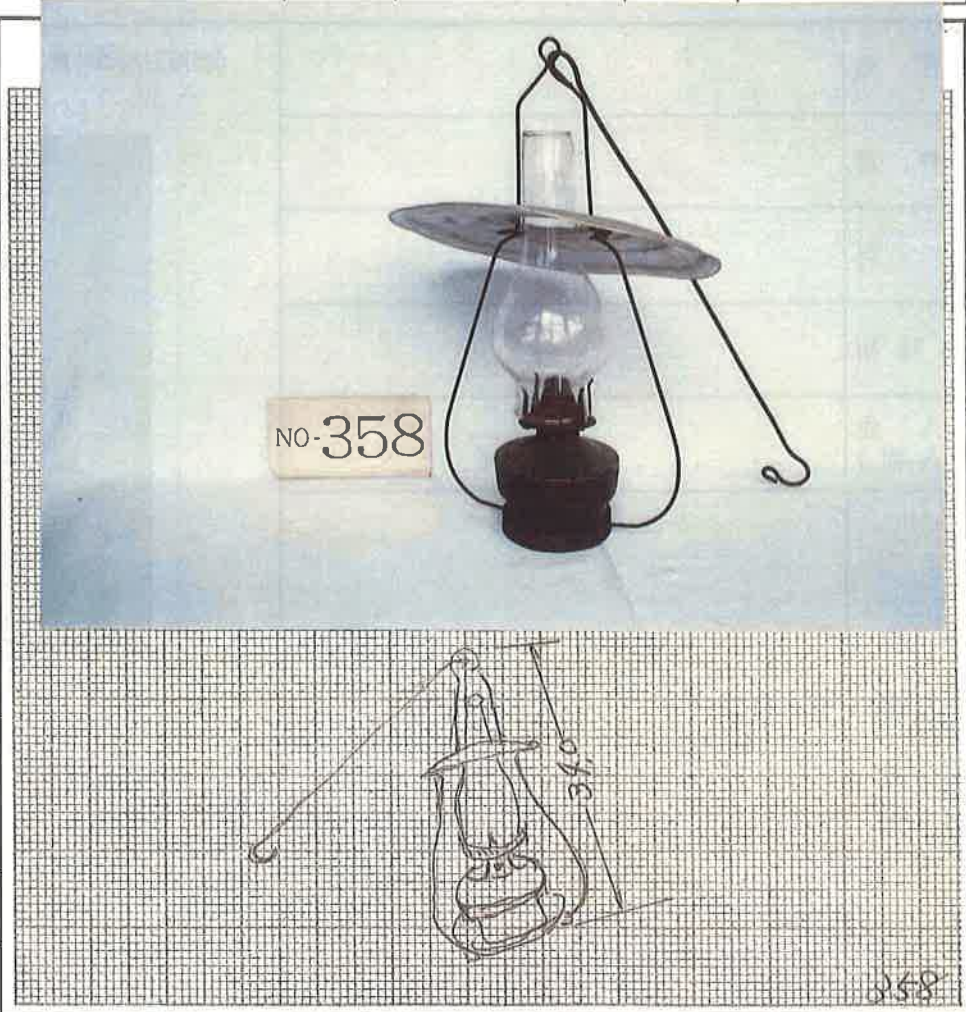


## 民俗資料調査カード

通番号	358	分類番号	130-2
-----	-----	------	-------

資料名	地方名(カタカナで記入してください) 標準名 ケケランプ トの洋燈
寄贈・借用 年 月 日	(昭和)平成 30 年 月 日
寄贈者	住所 金山町大字玉梨 字 番地
所有者	氏名
使用年代	(明)大初年頃から(明)大中年頃まで使用・現在も使用中
使用目的	照明用
収蔵場所	弥平民具館
備考	
調査年月日	平成 3 年 10 月 14 日
調査員	玉梨民具保存会



# その他

358

製作地	
製作者	
材料	
製作時期	
購入先 (購入地)	
年号 焼印 書等	

(使用方法の写真、または使用方法の説明)



無煙ランプ  
この地方では明治  
三十年頃からランプが使用さ  
れたらしく当時はその明るさ  
に驚いたと言われました  
大正十一年この地方に電燈がつ  
いたからはランプも次第に使わ  
れなくなりました

灯火の歴史	
種類	日本初の使用年代 金山初年代
ろうそく	奈良時代より輸入 江戸中期頃 室町時代一五三五年頃 神前御燈明 日本で製造 各所に使用 確実なものは不明
松	江戸時代中期より 最初の使用年代 不明 江戸時代中期頃 不明 明治未頃迄使用 用された
ランプ	江戸時代末期頃 外国より輸入 明治二十年頃
電燈	明治十一年 東京銀座使用化 大正十一年 明治十五年

委員会